

地球温暖化対策計画書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 (届出者)の名称	タイハウコーポレーション㈱
地球温暖化対策事業者 (届出者)の住所	名古屋市中区上前津2-4-10
工場等の名称	タイハウ千種駅南ビル
工場等の所在地	名古屋市千種区新栄3-20-17
業種	生活関連サービス業、娯楽業
業務部門における 建築物の主たる用途	集会場
建築物の所有形態	自社ビル等(自ら所有し自ら使用している建築物)
事業の概要	複合レジャービル
計画期間	平成34年4月1日 ～ 平成37年3月31日

2 地球温暖化対策計画書の公表方法等

公表期間	平成34年7月22日 ～ 平成37年3月31日		
公表方法		掲示 閲覧	(場所) タイハウグループ本社
		ホーム ページ	(HPアドレス)
		冊子	(冊子名・ 入手方法)
		その他	(その他詳細)
公表に係る問合せ先	052-332-0777		

3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

地球温暖化対策をはじめとする、地球環境保全の重要性を認識し事業活動のあらゆる分野を通じて、持続的発展が可能な社会の実現に貢献します。

1. 継続的な環境改善

PDCAサイクルに基づく環境施策の継続的な改善を図ります。

2. 省資源・省エネルギー活動の推進

事業所で使用する電気・燃料等のエネルギー使用量を、令和3年までに3%削減する。

3. 従業員への環境教育を社外の環境コミュニケーションの推進

従業員に対して、環境教育を進め、社外に対しては環境の公開を進めます。

(2) 地球温暖化対策の推進体制

地球温暖化委員会 委員長 小林 浩司 タイハウコーポレーション(株)

副委員長 鍛冶 弘一 タイハウコーポレーション(株)

環境行動推進員会議 議長 石亀 友隆

タイハウ千種駅南店 店長

カラオケJOYJOY・上海閩龍門 店長

フードコート 店長

ゲオ 店長

ラウンドワン 支配人

インターネット漫画喫茶亜熱帯 店長

4 温室効果ガスの排出の状況

基準年度（令和 3 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		1,447	t-CO ₂
①を （温室効果ガス 除く炭素換算） 排出量	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）	1,447	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項 目	基準年度 令和 3 年度 排出量（実績）		目標年度		令和 6 年度	
			目標排出量		目標削減率	
温室効果ガス 総 排 出 量	1,447	t-CO ₂	1,403	t-CO ₂	3.0	%

項 目	基準年度 令和 3 年度 排出量（実績）		目標年度		令和 6 年度	
			目標排出量		目標削減率	
原単位あたりの 排 出 量		CO ₂		CO ₂		%

（2）目標設定の考え方

温室効果ガスを1年に1%ずつ、3年間で3%の削減をします。

- 備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
- 備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
- 備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標
省エネルギー 省資源の行動実践 冷暖房	冷房温度 27℃ 暖房温度 21℃ 設定 定期的な室外機の清掃	設定温度を1日3回確認する。 エアコンのリニューアルを2025年 までに更新する
照明	使用していない場所（部屋）や、休憩時間外の消 灯を徹底する。高効率照明の推進 壁面照明2区画に分け時間帯をずらしての点灯	外壁照明の点灯時間を日没に合わせて 変更する。
照明	駐車場の蛍光灯についてLED化の導入を検討、 導入	2025年を目標に蛍光灯からLED 照明へ切り替える。
電力	デマンド監視装置の設置により電力量、ピーク電 力の削減	ピーク時間帯（14：00～17：00に関し ては）1時間に1度空調の使用設定変 更を行う。
環境教育	毎月1度のテナント会議において、各店舗の電力 使用量の報告と運用管理についての知識向上と削 減の提案	

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

ア これまでに実施している再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 計画期間における再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

--

(3) 環境価値（クレジット等）の活用

--

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置

--

(5) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組

--